

機械器具 58 整形用機械器具
管理医療機器 歯列矯正用アタッチメント 41059000

インスパイア ice

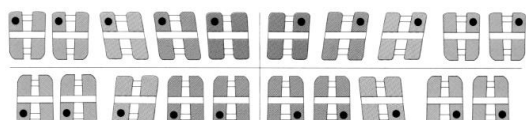
再使用禁止

【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

形状：



IDット：遠心歯頸部

スロット：0.47mm (.018) / 0.57mm (.022)

上顎	トルク	アンギュレーション	ローテーション	識別
中切歯	+22°	+5°	0°	ブルー
	+17°	+5°	0°	
	+12°	+5°	0°	
	+17°	+4°	0°	
側切歯	+14°	+8°	0°	ピンク
	+10°	+9°	0°	
	+8°	+9°	0°	
	+10°	+8°	0°	
犬歯	+7°	+10°	0°	グリーン
	-2°	+13°	4°	
	-2°	+9°	4°	
犬歯フック付	+7°	+10°	0°	
	-2°	+13°	4°	
	-2°	+9°	4°	
	+3°	+9°	4°	
小臼歯	-7°	0°	2°	オレンジ
	-7°	0°	2°	
小臼歯フック付	-7°	0°	0°	
下顎	トルク	アンギュレーション	ローテーション	識別
前歯	-1°	0°	0°	ピンク
	-6°	0°	0°	
犬歯	-11°	+7°	2°	ラベンダー
犬歯フック付	-11°	+7°	2°	
	0°	+3°	0°	
第1小臼歯	-17°	-1°	4°	スカイブルー
第1小臼歯フック付	-17°	-1°	4°	
	-12°	+2°	0°	
第2小臼歯	-22°	-1°	4°	イエロー
第2小臼歯フック付	-17°	+2°	0°	

原材料：アルミナ、酸化ジルコニウム

【使用目的又は効果】

歯科矯正治療において、歯に接着し、矯正力を付与するために用いる。

*【使用方法等】

〔装着〕

1. 使用する接着材の使用法に従い、歯面の前処理を行う。
2. ブラケットの歯面接着面（ベース）に接着材を塗布する。
3. ブラケットを歯面に圧接し、余剰の接着材を除去する。
4. 接着材の使用法に従い、接着材を硬化させる。

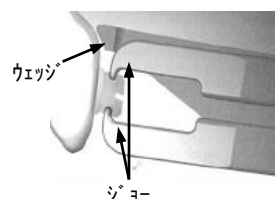
5. 接着材が十分に硬化した後、ワイヤーを装着する。
6. 金属製結紮線、エラスティックモジュール等を用い、ブラケットにワイヤーを固定する。

〔撤去〕

専用のアイス ディボンディング プライヤー（別品目）を使用する。

1. 歯面に接着されたブラケットから歯列矯正用ワイヤ（別品目）及び歯列矯正用エラスチック器材（別品目）を取り外す。

2. プライヤー先端（ジョー）を歯肉及び咬合両側から、アタッチメントのタイウィングの後ろに配置する。ウェッジはブラケットの歯肉側または咬合側に配置することができる。



3. ハンドルを握り、ウェッジをブラケットの歯面接着面に進めることにより、ブラケットが歯面から離れる。



〔使用方法に関連する使用上の注意〕

1. 油脂等により、適切な接着力が得られなくなるので、ボンディングベースを直接手でさわらないこと。
2. 本製品は硬いので、治療の全段階においてエナメル質表面の摩耗を防ぐために、対合歯に当たる部分にはブラケットを接着しないこと。対合する歯列と本製品が接触するような歯にはブラケットを付けないこと。
3. 過蓋咬合の場合、本製品を接着する前に、開咬しておく必要があります。ブラケットが歯に接触しないようにするため、バイトターボもしくは他の圧下力を使用することが必要な場合があります。
4. 硬い飴、氷、人参などの硬いものを噛まないように患者に指示して下さい。装置またはエナメル質の損傷を防ぐには、患者への慎重かつ徹底した指導が重要です。
5. 極度に弱体化した歯（大きな修復、栓状側切歯、以前から存在する状態など）に本製品を接着すると、歯を損傷する危険が高まる場合があります。
6. フルサイズのステンレス スティール ワイヤーを使用した矯正はブラケットの損傷につながるがあるので、トルクを加える際は慎重に行い、大きなトルクを加えないようにすること。本製品にはチタン合金製ワイヤーを使用して下さい。
7. ブラケットを撤去する時は、急激に引っ張ったり、ひねったりしないこと。
8. ブラケットを撤去する時は、患者が痛みを感じる、またはブラケットが変形するおそれがあるため、ブラケットを保持した状態でプライヤーを捻らないこと。ウェッジでエナメル質を傷付ける恐れがあるためハンドルはゆっくり握ること。



*【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- 1) ブラケットを歯面に接着する前に、エナメル質の状態が健全であること、接着材の種類および装着位置が適切であることを確認すること。〔エナメル質にクラックや剥離が生じる恐れがあるため〕
- 2) 本製品の使用により発疹などの過敏症状が現れた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- 3) 装着中にブラケットが破損した場合は、直ちに医師の診断を受けさせること。
- 4) 使用されるダイレクトボンド用接着材の種類、接着手順の不備等によっては装着中に脱落することがあるので、脱落した場合は、直ちに医師の診断を受けさせること。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

水分、腐食性薬材及びその蒸気の暴露を避けて、外圧（物理的負荷）及び汚染を受けないように保管すること。

[耐用期間]

製造から 5 年間〔自己認証（製造元データ）による〕

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者氏名：カボデンタルシステムズ株式会社
連絡先：03-6859-0065
製造業者：オームコ社 (Ormco Corporation)
国名：アメリカ (U. S. A.)